

Ericom Blaze[™]

Microsoft Remote Desktop Protocol (RDP) 強化された圧縮ならびに高速化

- ユーザ・ガイド
- バージョン 2.5

EMPOWER ENTERPRISE-WIDE ACCESS TO VIRTUAL DESKTOPS AND APPLICATIONS



法律上のお知らせ

この資料は以下の条件ならびに制約の対象となります。

- このユーザ・ガイドは Ericom Blaze に関する資料です。この製品の一部のバージョンでは、このマニュアルにて述べられている機能の一部のみが含まれるかもしれません。
- この資料の内容のいかなる部分も、電子的または機械的ないかなる手段により、 いかなる目的、いかなる個人や会社に対しても、Ericom® Software からの書面 による事前の許可なしで公表してはなりません。
- テキストやグラフィックスは例えや参考用となっています。その基となる詳細 は報告なしに変更される場合があります。
- この資料で説明されているソフトウェアはライセンス契約のもとで提供されています。契約条件に従ってのみ、利用したり、コピーしたりすることができます。
- この資料の情報は事前の報告なしに変更される場合があります。例えで用いられている企業や個人の名称等は注意書きがある場合以外にはあくまで架空のものとなります。

Copyright © 2013 Ericom[®] Software Ltd. Ericom is a registered trademark of Ericom Software Ltd. Other company brands, products and service names, are trademarks or registered trademarks of their respective holders.

BlazeUG20130903





目次

法	律上のお知らせ	2
1.	製品の概要	5
	5分で開始する	6
2.	Ericom Blaze サーバ	8
	ホストのファイヤーウォール設定	15
3.	ライセンスの概要	16
	検証(デモ)期間	16
	ライセンス・モード	16
	ー括管理サーバ設定	17
4.	Windows 用の Ericom Blaze クライアント	19
	Windows にて Ericom Blaze クライアントを用いる	20
5.	VMware® View Client Mode	31
	Secure Gateway アクセス	33
6.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント	34
6.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる	34 34
6. 7.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント	34 34 37
6. 7.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる	34 34 . .37 39
6. 7. 8.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版)	34 34 37 39 40
6. 7. 8. 9.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版) ベスト・プラクティス	34 37 39 40 41
6. 7. 8. 9.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版) ベスト・プラクティス セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマンスの向上	34 37 39 40 41
6. 7. 8. 9.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版) ベスト・プラクティス セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマンスの向上 暗号化されたパスワードやパラメータを用いる	34 37 39 40 41 41
6. 7. 8. 9.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版) ベスト・プラクティス セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマンスの向上 暗号化されたパスワードやパラメータを用いる ロードバランサーを用いる	34 37 39 40 41 43 43
6. 7. 8. 9.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版) ベスト・プラクティス セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマンスの向上 暗号化されたパスワードやパラメータを用いる ロードバランサーを用いる 外国語のキーボード・レイアウトならびに外国語での利用	34 37 39 40 41 43 43 45
6. 7. 8. 9.	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる. Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる. CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版). ベスト・プラクティス. セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマンスの向上. 暗号化されたパスワードやパラメータを用いる. ロードバランサーを用いる. 外国語のキーボード・レイアウトならびに外国語での利用. . Ericom Blaze をアンインストールする.	34 37 39 40 41 43 43 45 47
 6. 7. 8. 9. 10 11 	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる Linux 用の Ericom Blaze クライアント Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる CE 用の Ericom Blaze クライアント (β 版) ベスト・プラクティス セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマンスの向上 暗号化されたパスワードやパラメータを用いる ロードバランサーを用いる 外国語のキーボード・レイアウトならびに外国語での利用 Ericom Blaze をアンインストールする	34 37 39 40 41 43 43 43 45 47 48
 6. 7. 8. 9. 10 11 12 	Mac 用の Ericom Blaze クライアント Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる	34 37 39 40 41 41 43 43 45 45 47 48





この資料につきまして

この資料では Microsoft リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) コミュニケーション を高速化ならびに圧縮するために、どのように Ericom Blaze をインストールし、活用す ることができるのかに関する指針が提供されます。この資料の指示に従うことにより、 数分のうちに Ericom Blaze の優れた機能を実感することができるでしょう。

このガイドには以下のような情報が含まれています。

- Ericom Blaze の概要
- 準備とインストレーションの手順
- 活用方法に関する指示
- トラブルシューティングとよくある質問

このマニュアルでは、読者が以下の知識をすでにお持ちである事を前提としています。

- Windows オペレーティング・システムで RDP を有効とする
- ファイヤーウォールの設定
- ウェブ・サーバの管理

この資料で用いられている重要な技術用語

- RDP: リモート・デスクトップ・プロトコル(Remote Desktop Protocol)の略。 Microsoft にて開発されたリモート表示のプロトコル。RDP は Microsoft Windows の基本的なコンポーネントのひとつです。
- RDPホスト: Microsoft RDPを用いてリモートよりアクセスできる Windows シ ステム。リモート・アクセスが可能なターミナル・サーバ(RDS セッション・ ホスト)や Windows ワークステーション等。
- HTML5:HTML 規格の新たなアップデート。コミュニケーションや表示等のための新たな特徴や機能をHTML に追加する。
- WebSocket: HTML5 規格にて公開された双方向かつ完全な2階層のコミュニケ ーション用メカニズム。
- SSL: セキュア・ソケット・レイヤ(Secure Sockets Layer)はインターネット 上で安全なコミュニケーションを提供するための暗号化プロトコルです。



1. 製品の概要

サテライト、ブロードバンド、エアカード等のほとんどのワイドエリア・ネットワーク (WAN)を利用する際に Ericom Blaze を用いる事により、エンドユーザはより優れたリ モート・コンピューティングを体験することができます。Microsoft リモート・デスクト ップ・プロトコル (RDP)を大幅に高速化し、圧縮することにより、それが可能となり ます。結果として、高いフレーム率、レスポンス時間の向上、よりスムーズなスクリーン のアップデートがもたらされます。Ericom Blaze は以下を実行します。

- RDP コミュニケーションの確認、ビットマップ等のグラフィックス用エレメントの特定ならびに圧縮。より優れたユーザ体験を提供するために、品質や圧縮率は設定可能となります。
- タスクバーやスタートメニューなどの主要なグラフィックス用エレメントを特定し、それらを一般の品質設定に関係なく、高品質レベルで圧縮します。そうすることにより、高画質を保ったままのリモート・コンピューティング体験を提供します。
- 優れたパフォーマンスの一括圧縮機能を用いて、RDP 転送全体を圧縮します。
- ネットワークの利用を最適化し、データ・パケットの転送を高速化するため にパケット・シェーピングを実行します。
- インテリジェントにフレームを提供するため、スクリーンは複数のブロックで はなく、ひとつのユニットとして表示されます。

Ericom Blaze は RDP をサポートするいかなる x86 または x64 ベースのホスト・システム と共に機能します。その中には Windows ターミナル・サーバやリモートの物理システム、 仮想デスクトップも含まれます。Ericom Blaze は以下のコンポーネントにより構成され ています。

• Ericom Blaze サーバ

このコンポーネントは RDP サーバ/ホストにインストールされ、RDP を圧縮し、高速 化します。以下のシステムがサポートされています。

- Windows 2003 と 2003 R2 32 bit と x64
- Windows 2008 32 bit と x64
- Windows 2008 R2
- Windows 2012
- Windows XP、Vista、Windows 7、Windows 8 32 bit と x64
- Ericom Blaze クライアント

このクライアント用コンポーネントは高速化された RDP を用いて、Blaze サーバに接続す るか、標準的な RDP ホストに接続することができます。以下のプラットフォームがサポ ートされています。





- Windows 2003 と 2003 R2 32 bit と x64
- Windows 2008 32 bit と x64
- Windows 2008 R2
- Windows 2012
- Windows XP、Vista、Windows 7、Windows 8 32 bit と x64
- Windows XPe, CE
- Linux
- Mac OS X
- Ericom AccessToGo Mobile クライアント

このクライアント用コンポーネントは高速化された RDP を用いて Blaze サーバ群と接続 し、またスタンダードな RDP ホストとも接続することもできます。以下のプラットフォ ームがサポートされています。(より詳しい情報は、AccessToGo マニュアルをご参考く ださい。)

- Apple iOS 5 またはそれ以上
- Android OS 2.1 またはそれ以上
- Blackberry Playbook 2.0.1 またはそれ以上
- Blackberry 10 またはそれ以上
- Chrome / Chrome OS

5分で開始する

Ericom Blaze は高機能かつ使い易いアプリケーションです。このマニュアルでは、お客様が それぞれの環境にあった仕方でこのアプリケーションを最適に設定できることを目指し、利 用可能な機能の詳細が述べられています。

基本的なインストールは約5分程で完了となり、Blaze クライアント(AccessToGo を実行しているモバイル・デバイスを含む)を実行しているいかなるデバイスからも Windows RDP ホスト(サーバまたはワークステーション)にアクセスすることが可能となります。

- 1) Ericom ウェブサイトより Ericom Blaze Server MSI インストーラをダウンロードする
- 2) MSI インストーラを実行し、すべてのダイアログ・ボックスにて Next をクリックし、最後に *Finish* をクリックする
- 3) Blaze と用いる Windows Firewall を設定(無効と) する
 - a. Windows Control Panel に進み、Windows Firewall を開く
 - b. 「Allow Program or Feature ...」をクリックする
 - c. 「Allow another program ...」をクリックする





d. *Browse*をクリックし、こちらに進む:<drive>:\ProgramFiles(x86)\Ericom Software\Ericom Blaze Server\BlazeServer32.exe

e. Addをクリックし、OKとする

- 4) Blaze Server は RDP ホストにインストールされた後、利用可能となります。その後、接続元として用いるデバイスに Blaze Client(または AccessToGo)をインストールします。
- 5) Blaze Client に Blaze Server のパラメータを入力し、*Connect* ボタンをクリックして接続 を開始します。





2. Ericom Blaze サーバ

Ericom Blaze サーバは RDP 圧縮と高速化を扱います。このコンポーネントは RDP ホスト(ユーザが接続しているコンピューター) にインストールされます。ホストは Windows ターミナルサーバや Windows ワークステーション等の RDP アクセスが可能な Windows システムを用いる事ができるかもしれません。Blaze サーバはカスタマイズ可能なポートを用います。 初期設定のポート番号は 3399 となります。

注意 Ericom Blaze は初期のバージョンに遡って対応していない場合があります。もし初期 のバージョンの Blaze をお用いの場合には、最適化を図るために、すべての Blaze ク ライアントとサーバ用コンポーネントを同じバージョンとするようにしてください。

Ericom Blaze サーバに必要とされるもの

- Windows オーペレーティング システム。サポートされているプラットフォームは1章にてご確認ください。
- OS にて RDP 接続を受信することが可能
- 20 MB のハードディスク空き容量
- MMX と SSE2 に対応する CPU
- Blaze ポートのトラフィックを許可するようにファイアーウォールを設定

Blaze サーバは高速化されたアクセスが必要な<u>それぞれの</u>サーバ/ホストにインストール する必要があります。ターミナルサーバはすべてのユーザのセッションを高速化するため、 一度のみインストールすることが必要とされます。それぞれのワークステーション用デ スクトップ(物理ならびに仮想)をインストールすることが必要です。Microsoft[®] Sysprep や Symantec[®] Ghost を用いて公開されるイメージの一部として Blaze サーバを 含むことも可能です。

すべてのネットワーク・インターフェースに対するバインド・サービス

仮想ネットワーク環境において、ひとつの仮想 NIC を用いるのではなく、すべての仮想 ネットワークのインターフェースを用いるために Blaze Server をバインドすることをお 勧めします。対象となるエンド・ユーザのグループが Blaze Server が用いているネット ワークのインターフェースにアクセス可能であることを常に確かめるようにしてください。

Ericom Blaze サーバをインストールする

*Ericom Blaze Server.msi*を実行し、インストレーション用ウィザードの指示に従ってください。

ライセンスの同意事項を読み、受け入れる。

お望みの場合には、Change をクリックし installation location を選択し、ターゲットのパスを指定する。



Destinati	on Folder	
Click Ne>	t to install to this folder, or click Change to install to a differ	ent folder.
	Install Ericom Blaze Server to: C:\Program Files\Ericom Software\Ericom Blaze Server\	Change

Install をクリックする。(もし促された場合には、セキュリティを強化するリクエスト を受け入れる)最後の画面で *Finish* をクリックし、インストレーションを完了する。

Blaze ポートが利用可能でホスト用システムにてアクセス可能かを確認する。さらなるファイヤーウォルの設定が必要とされるかもしれません。

Windows XP では、Ericom Blaze サーバをインストールした後、システムの再起動が必要となるかもしれません。

Blaze サーバは Microsoft System Center などの管理用アプリケーションを用いて、自動的かつ静的にインストールすることもできます。

静的にインストールをするにはこちらを実行します。

msiexec /l "EricomBlazeServer.msi" /q

EricomBlazeServer.msiは.msiファイルへの有効なパスを指定します。

Windows Vista、7、Windows Server 2008 や R2 でこのコマンドを実行するには高度な 身分証明が必要となる場合があります。そうしない場合には失敗する場合があります。

Ericom Blaze サーバを用いる

Blaze サーバの設定を変更するにはこちらを開きます。

Start | Programs | Ericom Software | Blaze Server.

🦻 Ericom Blaze Server Configuration

初期設定にて、Ericom Blaze サーバはポート 3399 にて受信接続を受け付けます。 この 場合においても、Microsoft Windows RDP ポート(初期設定値は 3389)を妨げることは ありません。

Blaze サーバの設定

Server Configuration コンソールには一群のタブが表示されており、管理者はサーバ用サ ービスの様々な設定をすることができます。Configuration コンソールは Microsoft Internet Explorer 7 またはそれ以上のシステムにおいてのみ機能します。(このコンソー ルは IE6 がインストールされているシステムでは用いる事ができません)

ヒント ターミナルサーバに Blaze サーバをインストールする際、Blaze Server Configuration のアプリケーションをエンド・ユーザから見えないようにすることをお勧めします。 そうすることにより、予期せずに Blaze サーバ設定が変更されることを防ぐことがで きます。





<u>General</u>

このページは Blaze Server のサービスを開始ならびに終了するための機能を提供します。 特定の設定を変更する際、サービスの再起動が求めらます。このページはこのシステムに 対するアクティブな Blaze のセッションの数をも表示します。

注意 Blaze Server のサービスが再起動された際、サーバ上のすべての Blaze セッションは 未接続となります。

ieneral Licensing Per	formance Communication	Acceleration	Security	Logging	Advanced
llaze Server service state:	Running				
llaze Server status:	Active				
lumber of sessions:	1				
itarted at:	03/15/12 16:23:57				
Re <u>s</u> tart Server					
Stop Server					

Licensing Information

このページでは Blaze サーバのライセンス情報が表示されます。*Connected to licensing server* というフィールドにて、現在利用されているライセンス・サーバが示されます。

注意 仮想デスクトップ(VDI)やターミナルサーバの本番環境では、ライセンス・サーバ は強力なシステムにて一括管理されなければなりません。詳細につきましては、一括 管理サーバの設定の章にてご確認ください。

初期設定として、Blaze Server は Licensing Server を特定するために DNS lookup を用い ます。用いられる DNS エントリーは *ericom-license-server.<domain-name*> または *__ericom-license-server._tcp.<domain-name*> となります。もし DNS エントリーが存在し ない場合には、 Blaze サーバは同じコンピュータにて実行されている Licensing Server への接続を試みます。

その他の方法としては、*Licensing server address*内の Blaze Server Configuration にて、 Licensing Server のアドレスを明確に指定する方法があります。以下のサンプル用画像で は、192.168.1.1 は Licensing Server のロケーションを示します。この値は Blaze Server を一括管理 Licensing Server のロケーションと共に設定する際に用いられます。 Licensing Server のアドレスを変更した後、*Service* タブを用いて Blaze Server サービス を再起動します。

ライセンス・サーバは初期設定値として、ポート 8888 を用いて通信します。

もし有効なライセンスが見つからない場合、 Blaze Server はお試し期間が期限切れと なっていない限り、実行しつづけます。お試し期間が期限切れとなると、 Blaze Server はユーザーのセッションを受け付けなくなります。「お試し期間」は 30 日間内の 10 日 間までとなります。



General Licensing	Performance Communication Acceleration Security Advanced
DIGLO	
License type:	Per Device
Used Licenses:	5 010 Remonant
Connected to licensing	i server: us-support0.ericom.local
© <u>U</u> se DNS lookup	14/con 19216811
Changing this setting may	take effect only after the Blaze Server service is restarted.
Specify the address - don Licensing server using DI <u>Started Guide</u> for details.	nain name or IP address - of the centralized Licensing Server. An empty value instructs Blaze to locate the NS lookup. If DNS lookup does not succeed, the locally installed Licensing server will be used. See the <u>Gettinc</u>
Manage Licensing S	Service on localhost
Restart Licensing Ser	ver
Stop Licensing Serve	er

Licensing Activation

Licensing | *Activation* をクリックし、シリアル番号とアクティベーション・キーを製品の 設定に入力します。検証で用いたインストールをアクティベートするには、シリアル番号 とともに「key to send to Ericom」を <u>supportusa@ericom.com</u> に送信し、手続きを依頼 します。その後、アクティベーション・キーが返信されます。そのアクティベーション・ キーを入力し、Activate License ボタンをクリックします。ライセンスを有効にするため に Blaze Server を再起動する必要はありません。

検証期間を延長するには、「key to send to Ericom」を Ericom 社の営業担当に送付して 手続きを開始します。依頼が受理された後、通常の 2 週間延長用キーが返信されます。

License Descri	<u>otion:</u>
License Status:	Valid
License Type:	Concurrent Users
Counting Mode:	Permanent
Expiration Date:	Never Expires
Number of License	es: 10
Used Licenses:	0
f you have receive outton.	d a serial number from Ericom, please enter it into the field below before clicking the "Email to Ericom

Performance

このページは現在の Blaze サーバのパフォーマンス統計を表示します。



General Licensing Perfo	rmance	Communication	Acceleration	Security	Logging	Advanced	
Server to Client com	munica	ation					
Number of sessions:	0						
Average compression ratio:	69 %						
Total data received from host	5 MB						
Total data sent to client:	1 MB						
Real-time cumulative performanc service is restarted. Display is auto	e informat omatically	ion for all sessions sir updated approximate	nce Blaze Server w ly once every 10 se	ras started. Co econds.	ounters are re	eset when the B	laze Server

Communication

このページは Blaze のライセンス提供用ポートや、RDP を実行するホストのアドレスを 変更するための機能を提供します。

初期設定(3399)以外を Blaze のライセンス提供用ポートを用いる場合には、ポート番号をクライアントのアドレス用フィールドにて明確に指定しなければなりません。 (例:rdpdemo.ericom.com:23)

受信先のシステムが Blaze サーバを実行しているシステムでない場合には、RDP ホスト のアドレスが用いられます。このシナリオでは、Blaze サーバがエンド・ユーザと受信先 ホスト用システムの間のプロキシとして動作します。 このようなタイプの設定は Blaze のパフォーマンスに悪影響をもたらすため、推奨されていません。

両方の設定を変更するにはサービスを再開することが必要です。(サービスのページを ご覧ください)

General Licensir	g Performance	Communication	Acceleration	Security	Logging	Advanced]
Blaze port number:	3399 Resto	re <u>D</u> efault (3399)					
Changing this setting	will take effect only af	ter the Blaze Server s	ervice is restarted.				
Specifies the TCP/IP p use by some other se	oort on which the Blaz rvice or application or	e Server service lister the computer. If you	ns for incoming con do, Blaze Server se	nections. Do ervice will not	not use a port start.	t number which	n is already in
Important: Blaze Cli must be explicitly spe	ents automatically co cified in the Clients' h	nnect to port <i>3399</i> wh ost address field.	nen using accelerat	ted RDP. If a c	lifferent port v	alue is selected	d, that value
RDP <u>h</u> ost address:	localhost						
RDP <u>h</u> ost address: Changing this setting	localhost will take effect only af	ter the Blaze Server s	ervice is restarted.				
RDP <u>h</u> ost address: Changing this setting Specifies the address when the Blaze Serve	localhost will take effect only af - domain name or IP r is installed on the R	ter the Blaze Server so address - of the RDP DP host itself. In that of	ervice is restarted. host for which Blaz	ze acceleratio <i>acalhost</i> shoul	n is used. Be: d be used.	st performance	is achieved

複数のネットワークカードのあるマシンにて Blaze サーバを実行する場合、RDP のホス トアドレスを *localhost* からシステムへの RDP アクセスの可能なネットワークカードの IP アドレスまたは DNS アドレスに変更してください。



Acceleration

このページでは高速化/品質レベルを設定する機能、ダイナミックな圧縮を無効にする 機能を提供しています。Override client acceleration / quality settings チェックボックスが 選択されている場合には、すべての Blaze セッションは既存の設定を用います。すべて のクライアント用の設定は無視されます。この設定をチェック、または未チェックとす る場合は、サービスを再起動してその変更が適用されるようにします。設定が有効とさ れると、高速化レベルの変更にはサービスの再起動は必要ではありませんが、アクティ ブなユーザは再接続することにより、新たな設定を用いる事ができるようになります。

Dynamic Compression はスクリーン上の小さなグラフィックス用オブジェクト(ツールバ ーのアイコン、タスクバーのアイコン、スタートメニューのアイコン等)を認識し、 Blaze の品質設定が Low の場合には高品質で、または Blaze の品質設定が Low より高い場合には 最高品質で圧縮します。その他すべてのグラフィックス用オブジェクトはすでに選択され た品質にて圧縮されます。そうすることにより、高品質のリモート・デスクトップのセッ ションを利用することができます。初期設定にて、この機能は有効となっています。無効 とするためには、「Use dynamic compression」ボックスを未選択としてください。



Security

このページでは Blaze のセキュリティ条件を設定することができます。



Ericom Blaze は統合された 128-bit SSL 暗号化を提供します。最高のパフォーマンスが求められる場合には、RDP セキュリティ暗号化レベルを Low に設定し、*Encrypt Blaze communication* を *Always* と変更することができます。この設定を用いる事により、





Ericom Blaze SSL 暗号化が RDP 暗号化の代わりに用いられます。詳細につきましてはこの資料のベスト・プラクティスの章にてご確認ください。

Logging

このページでは、特定のログイン方法機能を有効または無効にする機能について説明します。Ericom サポートとしましては、問題の原因究明のためにログをデバッグすることを求める場合があります。ここでは、ログのデバッグが有効となっています。



<u>Advanced (</u>管理者のみ利用)

このページでは高度な Ericom Blaze サーバの設定へのアクセスを提供します。それらの 設定はシステムのレジストリに保存されています。

Open Registry:エディタを開き、Ericom Blaze レジストリ用のキーが保存されているロ ケーションを表示します。

Export Settings: Blaze サーバのレジストリ用キーをユーザのホーム・フォルダにエクス ポートします。(例:マイドキュメント)

Import Settings:以前にに保存された Blaze サーバ のレジストリの設定をインポートします。

Advanced Configuration: すべての設定可能なレジストリ用キーの設定内容をレジストリ に追加します。初期設定として、初期設定値から変更された設定のみレジストリに保存 されます。





ホストのファイヤーウォール設定

エンド・ユーザのデバイスから Blaze の有効なホストへの Ericom Blaze トラフィック通 信が可能であることを確認してください。ファイヤーウォールの設定が必要とされる場 合もあります。

Windows のオペレーティング・システムにて、Blaze 用ポート(初期設定値は 3399)へのトラフィックが可能であるように Windows のファイヤーウォールが設定されてることを確認してください。

Windows でのファイヤーウォール設定のサンプル:

🈻 Windows Firewall	×							
General Exceptions Adva	anced							
Windows Firewall is turned o from outside sources such a General tab and select On.	off. Your computer is at risk of attacks and intrusions as the Internet. We recommend that you click the							
Prog Add a Port	×							
Na Use these settings to number and protocol, want to use.	o open a port through Windows Firewall. To find the port I, consult the documentation for the program or service you							
	Blaze							
Port number:	3399							
Ģ	€ICP CUDP							
At Change scope	OK Cancel							
✓ Display a notification when Windows Firewall blocks a program								
	OK Cancel							

ポート転送の設定

ファイヤーウォールにて Blaze の有効なホストへのポート転送が設定されている場合に は、Blaze ポート(初期設定値:3399)へ転送されているかどうか確認してください。 3389(初期設定 RDP ポート)へ転送してはなりません。

もしカスタムの Blaze ポートが用いられている場合には、Communication のページで設 定されているポートの値に対して転送がなされるようにファイヤーウォールを設定して ください。



3. ライセンスの概要

検証(デモ)期間

すべての Blaze サーバのインストールには、同じデバイスにインストールされているライ センス・サーバがすでに含まれています。初期設定として、 ライセンス・サーバには 30 日 間の検証期間がすでに含まれています。 この期間中、ライセンス・サーバは 50 までの同 時利用ユーザ用ライセンスを許可します。検証期間を延長したい場合には、Ericom 営業担 当にご連絡ください。

ライセンス・モード

Ericom ライセンス・サーバのサービスは Ericom Blaze 用のライセンス提供を管理します。 高速化された Ericom Blaze のクライアント用セッションを用いている場合には、常に Ericom のライセンスが必要となります。ひとつのライセンス・サーバにて無制限数の Blaze サーバのライセンスを管理する事ができます。

2種類のライセンス形態があります。

<u>同時利用ユーザ</u>: 同じライセンス・サーバを用いているすべての Blaze サーバに現在 接続されているアクティブ・ユーザの数をもとに、Ericom のライセンスを数えます。こ の方法においては、このような点を考慮してください。

- ひとりのユーザが、ひとつのクライアント用デバイスから同時に用いている Blaze のセッション数にはライセンスの制限は課されません。ユーザがこのデバイスで 用いているセッション数に関わりなく、ひとつのライセンスが必要となります。
- 同じユーザが複数のデバイスから Blaze セッションを同時に用いている場合には、 デバイス数と同じ数のライセンスが必要です。
- 複数のユーザが同じデバイス(例:高速のユーザ・スイッチング)を用いている場合には、アクティブの Blaze セッションを利用するユーザ数と同じ数のライセンスが必要です。

<u>指名されたユーザ</u>: 同じライセンス・サーバを用いているすべての Blaze サーバに接 続したことのある、登録されているユーザ名の数をもとにして、Ericom ライセンスを数 えます。この方法においては、次の点を考慮してください。

- ユーザにより最初に用いられた名前に対してライセンスが割り当てられます。
- Blaze クライアントを実行するためにこの名前が 14 日間全く用いられなかった場合には、その期間の後、ライセンスは自動的にリリースされます。この名前に割り当てられたライセンスは 14 日の期間が終了する前にリリースすることはできません。



一括管理サーバ設定

Blaze サーバはリモートのライセンス・サーバを用いるように設定することができます。 そうすることによりひとつのライセンス用プールを複数の Blaze サーバで共有することが できます。

例えば、10ユーザ用ライセンスを一括管理サーバで一度にアクティベートすることがで きます。そうすることにより、ネットワーク上のすべての Blaze サーバは一括管理サーバ のライセンス用プールを用いることができるようになります。Ericom 社は2つ以上のタ ーミナルサーバ(RDP ホスト)がある環境では、障害やコンフリクトを避ける目的で、 ライセンスをホストするひとつの専用サーバを設置することをお勧めします。その際に は以下の点に配慮するようにします。

- 一括管理ライセンス・サーバはより可用性の高いサーバにホストすることにより、 ライセンスを効率よく分配することができるようになります。
- VDI(仮想デスクトップ)環境では、クローンされたデスクトップやゴールド・イメージ用テンプレートにライセンス・サーバをインストールしないようにしてください。
- 2つ以上のサーバがある TS/RDS 環境において、ターミナルサーバにライセンス・ サーバをインストールすることはお控えください。
- サーバにて再起動やその他障害を興しかねない動作を最小限に留めるようにします。
 オフピーク時にのみアップデートを適用するようにします。

もし有効なライセンスが見つからない場合、 Blaze Server はお試し期間が期限切れと なっていない限り、実行しつづけます。お試し期間が期限切れとなると、 Blaze Server はユーザーのセッションを受け付けなくなります。「お試し期間」は 30 日間内の 10 日 間までとなります。もしライセンス・サーバに問題がある場合には、 お試し期間が期限 切れとなる前に問題を解決するようにしてください。

一括管理ライセンス・サーバは以下の3つの方法にて用いる事ができます。

DNS Lookup を用いる

Use DNS lookup

この設定が用いられている場合においては、Blaze サーバは、ローカルにインストールさ れたライセンス・サーバを用いる前に、常に一括管理ライセンス・サーバを探すようにし ます。もし一括管理ライセンス・サーバが見つかり、利用する事ができる場合には、ロ ーカルのライセンス・サーバは無視されます。Ericom Blaze サーバのサービスが開始さ れた際に、以下の手順に従って一括管理されたライセンス・サーバのアドレス(IP また は DNS 名)を探します。

1) DNS-SRV エントリー





Blaze サーバは DNS-SRV エントリー(_*ericom-license-server._tcp.<domain>*)にてライセンス・サーバのアドレスを探します。

例:_ericom-license-server._tcp.ericom.local

2) DNS エントリー

もし DNS-SRV レコードが存在しない場合には、Blaze サーバは DNS エントリー (*ericom-license-server.<domain>*)にてライセンス・サーバのアドレスを探します。

例: ericom-license-server.ericom.local

3) Localhost

もし DNS エントリーが存在しない場合には、ローカルにてインストールされたライ センス・サーバが用いられます。(例:<u>localhost</u>がライセンス・サーバのアドレスと してもちいられることになります)

マニュアル入力

Licensing server address

管理者は Blaze Server Configuration アプリケーションのライセンス用ページを用いて、 ライセンス・サーバを明確に指定するようにします。

Licensing server address: 192.168.1.1

PowerTerm WebConnect を用いる

PowerTerm WebConnect の WebConnect ブローカーが用いられている場合には、すべて のライセンスはブローカーより入手されます。Blaze サーバのライセンス機能は完全に無 視されます。





4. Windows 用の Ericom Blaze クライアント

Ericom Blaze クライアントは Blaze が有効なホストに接続します。このコンポーネント はクライアント用デバイス(ユーザが接続するために用いているコンピューター)にイ ンストールされます。

注意 Ericom Blaze は初期のバージョンに遡って対応していない場合があります。もし初期 のバージョンの Blaze をお用いの場合には、最適化を図るために、すべての Blaze ク ライアントとサーバ用コンポーネントを同じバージョンとするようにしてください。

Ericom Blaze クライアントに求められるもの

Ericom Blaze クライアントはユーザのデバイスにインストールされます。.

- 1章にて、サポートされているプラットフォームを確認してください。
- 20 MB の利用可能なハードディスク容量
- MMX が利用可能な CPU

Ericom Blaze クライアントをインストールする

- Blaze インストーラにてこれまでのインストレーションが上書きされるかもし れません。
- Ericom Blaze Client.msi を実行します。
- ライセンス契約事項を確認し、承諾します。*installation location*を選択し、どのユーザが Ericom Blaze を利用するのかを指定します。

The installer will install Ericom Blaze Client 1.4.1.0 to the following folder.						
To install in this folder, click "Next". To install to a different folder, enter it below or click "Browse".						
<u>F</u> older:						
C\Program Files\Ericom Software\Ericom Blaze Client\	Browse					
	Disk Cost					
Install Ericom Blaze Client 1.4.1.0 for yourself, or for anyone who uses thi	s computer:					
⊙ Everyone						
O Just <u>m</u> e						

Nextをクリックし、Blaze クライアントを用いるために.rdp ファイルを関連づけます。.blaze 拡張子が自動的にシステムに追加されます。関連づけられた設定ファイルをダブルクリックすると、Blaze クライアントはファイルの設定に従って開始されます。







ヒント RDP クライアント (MSTSC.exe) とともに作成された.rdp ファイルを用いて Blaze セッションと自動接続するには、<u>まずはじめに</u> Blaze クライアントを用いて.rdp ファ イルを保存しなければなりません。Blaze クライアントを用いて.rdp ファイルを保存 する前に開始すると、Blaze クライアントのユーザ・インターフェースが開きます。 Blaze クライアントを用いて.rdp ファイルを保存する(すべての設定が保たれる) と、今後は開始時から自動接続されるようになります。

*Next*をクリックしてインストレーションを開始し、インストレーションが完了するのを 待ちます。(セキュリティの権限を上げるようにリクエストされる場合もあります。)

表示ウインドウにて Close をクリックすると、Blaze クライアントが利用可能となります。

Windows にて Ericom Blaze クライアントを用いる

インストールされた後は、Ericom Blaze クライアントはスタートメニューから開始でき るようになります。



または、Ericom Blaze クライアントは.blaze 拡張子の設定ファイルをダブルクリックす ることにより開始する事ができます。そうすることにより、設定用のユーザインターフェ ースを表示する事なく、Blaze クライアントはファイルにて特定された設定を用いてすぐ に接続することになります。.blaze ファイルは実行可能な blaze.exe 用のパラメータとし ても用いる事ができます。

注意 スプラッシュ・バナー内の Ericom ロゴをお好みの画像と取り替えるには、blaze.exe がある同じディレクトリにて、splash.pnp という名前のファイルを作成します。この ファイルは 700x120 ピクセルとしなければなりません。対象となるロゴまたは画像 をこのファイルにコピーすると、スプラッシュ・バナーの上に表示されます。



<u>ー般的な設定</u>

General	Display	Display Local Resources Programs Experience Gateway							
Logon set	ttings								
	Enter the n	ame of the remote	computer.						
	Computer:	jameslui.info	jameslui.info 🗸 🗸						
	User name:	User name: lui							
	Password:	Password:							
	Always	ask for credentials							
Ericom Bla	aze								
	RDP Compression and Acceleration								
	Acceleration / Quality								
	Fastest / Fair Quality								
Connectiv									
Connectio	on seconds			DD 61-					
Save the current connection settings to an RDP file									

コンピューター: Ericom Blaze サーバまたは一般的な RDP ホスト(ホスト名または IP アドレス)を実行しているホストのアドレスを入力します。 ポート番号が指定されてい ない場合には、初期設定値として、ポート **3399** が Blaze の高速化コンポーネント用とし て、ポート **3389** が一般の RDP 用として利用されます。

異なるポート番号を指定するには、「:<port number>」をアドレスの末尾に追加してください。例えば、ポート 23 を用いる場合には rdpdemo.ericom.com**:23** となります。

ユーザ名/パスワード (オプショナルのフィールド) :対象となるホストにログインする ために身分証明を入力します。ホストのログイン用ダイアローグを避けるには、両方とも 入力してください。

強化された RDP 圧縮と高速化を有効とする:このボックスを未選択とすると圧縮と高速 化が無効となります。無効となっている場合には、RDP が用いられます。

Ericom Blaze 高速化 / 品質設定

Moderate/Highest:パーフェクトな品質(ロスのない圧縮)。正確な画像提供が必要な場合に最適です。





- Good/Very High: 画像品質のロスを最小限に保ちます。
- Fast/ High: 若干品質が落ち、最高度より若干高速となります。
- Very Fast/Good:品質とパフォーマンスのパランスを保ちます。通常はこち らを選択します。
- Fastest/Fair:品質は落ちるものの、パフォーマンスが向上します。帯域が限られている場合、とりわけグラフィック用アプリケーションを用いる場合に有効です。

Ericom Blaze	e	, ,
	Enable Enhanced RDP Compression and Acceleration	
	Acceleration / Quality	
	Fastest / Fair Quality	~
L	Fastest / Fair Quality	_
Connection	Very Fast / Good Quality (Recommended)	
	Fast / High Quality	
	Good / Very High Quality	
	Moderate / Highest Quality (Lossless)	
	Save Save As Open	

接続の設定:

- Save:読み込まれているロケーションよりファイルに設定を保存します。もし設定がファイルより読みこまれていない場合には、Save As と同様になります。(以下を参照してください。)
- Save As:新しい.blaze ファイルに設定を保存します。拡張子.rdp のついた ファイルを保存する事も可能です。
- **Open**:既存の.blaze ファイルより設定を読み込みます。拡張子**.rdp**のついた ファイルから設定をロードすることも可能です。

以前の設定にアクセスする。

- a. 過去のすべての有効なセッションの設定は自動的に再利用するために保管 されます。
- b. 以前の設定を用いるには、**Computer** 名の右側のドロップダウンの矢印ア イコンをクリックします。用いられた順にセッションが表示され、最も最 近用いられたセッションが一番上に表示されます。以下をご覧ください。

Enter the name	of the remote computer.	_	
<u>C</u> omputer:	my_vdi_desktop	$\overline{\mathbf{v}}$	l
	192.168.35.110		1
User name:	192.168.35.115		
Decemende	192.168.35.84		
<u>P</u> assworu:	192.168.35.98		
Could available	rdpdemo.ericom.com	=	
Saved credentia	rdpdemo.ericom.com:23		





Ericom Blaze セッションを開始するためのすべてのパラメータが設定された後に Connect をクリックします。

<u>ディスプレイの設定</u>

	Ericc Remote	Desktop Con	e nection				
General	Display	Local Resources	Programs	Experience			
-Display co	onfiguration						
	Choose the Drag the	Choose the size of your remote desktop. Drag the slider all the way to the right to use the full screen.					
	Small	Small Large					
		14	40 by 900 pixels	s			
	Choose monitors to use for the remote session. Use my current monitor						
	Display th Yes	e connection bar whe	en I use the ful	screen:			
Colors							
	Choose the Highest (ne color depth of the Quality (32 bit)	remote session				

ディスプレイの設定:Ericom Blaze セッションのスクリーンサイズを指定します。フル 画面セッションではローカル画面の全面が利用されます。

リモートのセッションのためのモニターを選択する

- Use my current monitor: Blaze セッションは現在使用中のモニターのみ開きます。(Blaze ダイアローグが表示される部分)
- Use all my monitors: すべてのモニターを用いて Blaze セッションを開きます。

Windows Server 2008 R2 や Windows 7 に接続する場合には、リモートセッションの仮想モニターを作成するために RDP Multimon 機能が用いられます。 この場合、それらの仮想モニターはローカルのモニターと全く同様となります。

それ以前のバージョンの Windows に接続する場合には、ひとつのリモート用モニターを作成するために複数モニター拡張が用いられます。MSTSC.exe の





/span フラグのように、ひとつのリモート用モニターによりすべてのローカル用 モニターがまとめられます。用いられているモニター数に関係なく、デスクト ップの解像度は最高 4096x2048 となります。このモードでは、Ericom Blaze は 自動的にウインドウのサイズと位置を調整し、モニター内で適切に表示される ようにします。例えば、アプリケーション用ウインドウを最大すると、主要モ ニター内に収まります。

- Span all my monitors: Blaze セッションはすべてのモニターを用いて開きます。 マルチ・モニターの拡張機能はすべてのローカルのモニターをカバーするひと つのリモート・モニターを作成します。この機能はすべてのオペレーティング ・システムにて備えられています。
- Monitor X: Blaze セッションは X として認識されたモニターを開きます。(X は数字によるモニターの識別方法を意味します)

フル画面を用いる際に接続バーを表示する

Blazeのフル画面接続バーには3つのモードがあります。

- Yes:接続バーが利用可能で、auto-hide モード(初期設定)にて開始されます。
 Pinned モードに変更する事もできます。
- Yes (Pinned) : 接続バーが利用可能で pinned モードにて開始されます。 unpinned にすることにより auto-hide モードに変更する事もできます。
- No:接続バーが利用可能ではありません。キオスクやシンクライアント環境 で有効です。

カラー:Ericom Blaze セッションにてカラーの深みを特定します。ホストのプラットフォームにて提供されている最高のカラー設定を用いるように 32 ビットのカラーを指定します。32 ビットまたはそれ以下となることもあります。例えば、Windows 2003 では 24 ビットとなります。

注意:Windows 2003 SP2 サーバに接続している場合、クライアント用デスクトップの 解像度がかなり高い場合には、カラーの深みは低くなります。この問題を解決するため に Microsoft Hotfix を利用する事ができます。詳細につきましては、よくある質問の部分 を読んでください。

接続バーを表示する:フル画面モードの RDP ウインドウの上に表示される Ericom Blaze RDP バーを非表示とするには、このボックスを未選択としてください。

us-vmdesktop2 : 3388 - Ericom Blaze - High Quality



<u>ローカル用リソースの設定</u>

	Erico Remote	Desktop Con	e nection		
General	Display	Local Resources	Programs	Experience	
-Remote a	udio				
Ó	Configure	e remote audio setting	js.		
Keyboard					
	Apply Wir	ndows <u>k</u> ey combinatio	ns		
	Uniy wh	en using the full scree	in .		
	Example	ALT +TAB			
-Local devi	ices and res	ources			
	Choose t your rem	he devices and resou ote session.	rces that you	want to use in	
	Prin <u>t</u> e	ers		Clipboard	
		<u>M</u> ore		3rd party add	dins

Remote Audio: Ericom Blaze セッションのためのオーディオ設定を指定します。

Keyboard: Windows キーの組み合わせの設定を指定します。

Local devices and resources: プリンタやクリップボードの転送を有効にします。

ヒント 通常の RDP プリンタの転送を用いるには、プリンタのドライバがホストとクライア ントにインストールされていなければなりません。

Click More … リモートのホストのローカル用ディスクのマッピングを指定します。特定 のフォルダ(ローカルのユーザの My Documents や Desktop 等)をマッピングすること は可能です。 セッションがアクティブな間、プラグインされたドライバーのマッピング を有効にする事もできます。

-Local disks		
V	My Documents	
V	Desktop	
4	Drives	
	[C:] Local Disk	

サードパーティのアドイン: 32-bit のサードパーティー RDP アドイン(例:ユニバーサ ル印刷のリダイレクトをサポート)の利用を有効とする。Blaze は 32-bit ベースのアドイ





ンのみサポートしており、x64 ベースのサードパーティー ・コンポーネント(例: triCerat の x64 Screwdrivers クライアント)をサポートしていません。X64 システムにて、 32-bit バージョンのアドインを用いてください。

もしサードパーティのアドインがクライアント用システムに適正にインストールされてい ない場合には、それらを選択するための表示が Blaze クライアントにてなされません。 Net2Printer や ThinPrint、triCerat、Print2RDP などのユニバーサル印刷のソリューション はすてにテストされています。AudioTS two-way audio redirection もサポートされていま す。サードパーティーのソリューションに関する情報につきましては、Ericom (sales@ericom.com) に問い合わせてください。

	Ericom [®] Remote Des	Blaze ktop Connec	tion	
3rd party	addins 3rd party addins 🕡 Net2Printer RE)P Client32		
			OK	Cancel

<u>ユニバーサル印刷</u>

Ericom Blaze はユニバーサル印刷のサポートが含まれています。ビルトインのユニバー サル印刷は Postscript をベースにしており、リモートで実行されたプリント・ジョブをロ ーカルのプリンタにリダイレクトします。ローカルのプリンタはリモート・セッション において利用可能なプリンタとして表示されます。ユニバーサル印刷を有効とするには、 Printers (Universal) 設定をチェックするようにします。

Choose the devices and resources that y	
your remote session.	you want to use in
Clipboard	More devices
Prin <u>t</u> ers (universal driver)	3rd party addins

この例では、Blaze クライアントを実行している Windows 7 システムにて 2 つの利用可能なプリンタがあります。



Contraction And Anthenia Ant	- A Search Devices and	Printers (
Services and Finites F	scoren beraces and	
<u>File Edit View T</u> ools <u>H</u> elp		
Add a device Add a printer See what's printing	Print server properties	III 🔻 🔞
Name	Classification	Device category
Devices (6)		
Printers and Faxes (3)		
Rother MFC-6800 USB on us-confpc	Printers and Faxes	Printers and Faxes
PHASER on INTRANET	Printers and Faxes	Printers and Faves

Blaze RDP セッションにて、リダイレクトされたプリンタはリモート・デスクトップに て設定されたプリンタと共に表示されます。リダイレクトされたプリンタはラベル上の コンピュータ名に「[PS]」というシンボルが付されます。

<u>File E</u> dit <u>V</u> iew F	vorites <u>T</u> ools <u>H</u> elp	_
🕝 Back 👻 🌍	🏂 🔎 Search 💫 Folders 🔢 -	
Address 🦦 Printers ar	d Faxes	🕶 🄁 Go
-	Brother MFC-6800 USB on us-con bc [PS]	(fro
Printer Tasks	Image: A second seco	
🔯 Add a printer	PHASER on INTRANE [PS] (from us-supp	port0)
🙈 Set un faving		

注意 プリント・ジョブを扱うために通常の HP Postscript ドライバが用いられます。ユー ザはほとんどの種類のプリンタを用いる事が可能ですが、一部のプリンタ機能(例: duplex printing)は利用できない場合があります。お用いのプリンタ特有の機能をサ ポートするには、サードパーティの印刷ソリューションを用いるか、通常の RDP 印 刷(RDP ホストでプリンタ用ドライバをロードする方法)を用いる事をご検討くだ さい。

リダイレクトされたプリンタにて印刷するには、アプリケーションの Print ダイアローグ が表示された際に、お望みのプリンタを選択するのみとなります。

ieneral Options	
Select Printer	
🔯 Add Printer	DHASER on
Brother MFC-6800 USB on us-	confpc [PS] (from us-support0)
Read the server of the server	intranet





<u>プログラムの設定</u>

General	Display Local Resources Programs Experience Gateway
Start a pro	ogram
	✓ Start the following program on connection:
	Program path and file name:
	notepad.exe
	Start in the following folder:
	Enable session sharing

Ericom Blaze のシームレス・アプリケーションを用いて、ユーザはデスクトップ内にリ モートのアプリケーションをローカルのアプリケーションのように表示することができ ます。リモート・デスクトップは表示されません。この機能を用いるなら、ユーザのロ ーカル用アプリケーションとリモートのアプリケーションを同時に利用することができ ます。シームレス・アプリケーションは Blaze クライアント経由の高速/非高速モード のいずれにおいてもサポートされています。アプリケーションが開始されるホスト・シ ステムにて Blaze サーバが必要となります。

Start the following program on connection をチェックし、シームレス・アプリケーション として開始されるプログラムのパスとスタートアップ用フォルダ を指定します。リモー トのシステムのアプリケーションのパスを入力する事を覚えておいてください。ローカ ル(ユーザ)用システムのアプリケーションのパスは入力しないでください。

Ericom Blaze はシームレス・アプリケーションにてセッション共有をサポートします。 複数のシームレス・アプリケーションを同じセッションにて開始する事ができるため、 不必要なログインを最小限にすることができます。有効とするには、*Enable session sharing* ボックスをチェックします。







<u>Experience タブの設定</u>



Experience ドロップダウン用ボックスをクリックし、ユーザのネットワーク速度に最適な設定を選択します。セッション用機能のチェックボックスを未選択とすることにより 無効とする事もできます。

注意 もし Show window content が選択されている場合には、RDP ホストにおいても有効 とする必要があります。設定はオペレーティング・システムにより異なり、インター ネットにて「Show window conent」と検索し、情報を集めるようにしてください。

Instant Bitmap Caching:最高のパフォーマンスを提供するために、ビットマップをキャッシュすることを許可します。Microsoft RemoteFX が有効となっている RDP ホストと接続する際にはこの設定のチェックを外してください。

Reconnect if the connection is dropped: Blaze セッションがネットワーク障害にて妨げ られた場合に、セッションに自動再接続することを有効とします。

<u>ゲートウェイ・タブの設定</u>

Ericom Secure Gateway が用いられている場合には、*Connect using Ericom Secure Gateway* ボックスをチェックします。Ericom Secure Gateway サーバのアドレスを入力 します。もし特定のポートが指定されていない場合には、初期設定値の 443 が用いられ ます。ポートを指定するには、以下の例にて示されている通り、「:」とポートの値を入 力します。Secure Gateway にログインするためのユーザ用アカウントが必要とされます。 こちらはマニュアルで入力するか、Ericom Blaze クライアントにて保存されている身分 証明を用いるかのいずれかとなります。



- Connec	t using Ericom Secure	Gateway	
P	Enter host-name[:p	ort] or IP-address[:port].	
	Secure Gateway:	secure.ericom.com:4343	•
	User name:	Not specified	Edit
	🔲 Use Ericom Secu	re Gateway credentials for the remote	e computer

Ericom Secure Gateway に関するより詳しい情報につきましては、Ericom Secure Gateway のマニュアルにてご確認ください。

<u>ローカル・カーソルのオプション</u>

ローカル・カーソルを有効とするには、テキストエディタを用いて.blazeファイルを変更し、ファイルの最後に以下のいずれかを追加するようにします。

- 1. "null cursor:s:cross"
- こちらは十字カーソルを表示します。
- 2. "null cursor:s:arrow"

こちらは通常のローカルの矢印カーソルを表示します。

3. "null cursor:s:png"

こちらは blaze.exe ディレクトリにある「null_cursor.png」ファイルを用います。この画像は 32x32 ピクセルでなければならず、32 ビットまでの色と alpha(0 = transparent、225 = fully opaque)により構成されます。

4. "null cursor:s:bmp"

こちらは2つのB&Wビットマップ「null_cursor.bmp」と「null_cursor_map.bmp」 を用います。カーソルのビットマップ(B)とマスク(W)は以下の用な組み合わせとな ります。

- B=1とM=1の場合には黒となる
- B=0とM=1の場合には白となる
- B=0とM=0の場合にはトランスペアレントとなる

B=1とM=0の場合には Windows では XOR にて処理された結果となり、その他のすべてのプラットフォームでは未定義の結果となる

注意 この設定がマニュアルで.blaze ファイルに追加された後は、新しい設定を更に追加保 存しないようにしてください。新たに保存がなされた場合にはこの設定が上書きされ てしまい、その設定をマニュアルにて再度追加しなければならなくなります。





5. VMware[®] View Client Mode

Ericom Blaze Client は VMware View コネクションブローカをサポートします。Ericom Blaze は認証のために View ブローカを用い、対象となる仮想デスクトップに直接接続し ます。VMware View アクセスにて Ericom Blaze RDP 高速化を用いている場合には、 Blaze クライアントは View クライアントのように用いられます。Blaze クライアントは View クライアントを必要とはせず、 View クライアントと取り替えられることもありま せん。



Blaze クライアントにて VMware View モードを有効とするには、*Switch to VMware View mode* ボタンをクリックします。

Switch to VMware View mode]
L	ľ

Ericom Blaze – VMware View のインターフェースが表示されます。



Fice Remote	om [®] Blaze e Desktop Connection
VMware View Connec	tion Server
Enter host-name[:po	rt] or IP-address[:port].
Connection Server:	192.168.22.123
SSL:	☑ Use secure connection (SSL)
Auto Connect:	Always connect to this server at startup
Connect to remot	te desktops using Ericom Secure Gateway
Enter host-name[:po	rt] or IP-address[:port].
Secure Gateway:	secgate.acme.com 👻

VMware View コネクションブローカにて求められる場合には、SSL を有効にします。 VMware View サーバのアドレスを *Computer* フィールドに入力し、*Connect* をクリック します。

次のダイアローグでは、ユーザの身分証明が求められます。

F	Ericom [®] Blaze Remote Desktop Connection
Enter your us	er name and password.
<u>U</u> ser name:	visitor
Password	••••••
<u>D</u> omain	TEST
Switch to Re	mote Desktop mode Login Cancel

認証がなされた後、Blaze クライアントは View ブローカー経由で利用可能なデスクトップのリストをユーザに表示します。



Fricom [®] Blaze Remote Desktop Connection			
DemoWin7x64	^		
DemoWin7x86			
DemoWinXPx64			
DemoWinXPx86			
10 V. V.	*		
Remote Desktop properties			
Full Screen			
Ericom Blaze			
Enable Enhanced RDP Compression and Acceleration			
Acceleration / Quality			
Very Fast / Good Quality (Recommended)			

お望みの Blaze 設定を済ませ、*Connect* ボタンをクリックして選択されたデスクトップ に接続します。

注意 Blaze クライアントは PCoIP をサポートしません。Ericom Blaze クライアントと Blaze プロトコルは View クライアントや PCoIP プロトコルに対し、独自に機能しま す。

Secure Gateway アクセス

Ericom Secure Gateway が用いられている場合には、*Connect using Ericom Secure Gateway* ボックスをチェックします。Ericom Secure Gateway サーバのアドレスを入力 します。もし特定のポートが指定されていない場合には、初期設定値の 443 が用いられ ます。ポートを指定するには、以下の例にて示されている通り、「:」とポートの値をア ドレスの後に入力します。この例では、Secure Gateway は *secgate.acme.com* というア ドレスがあります。ポートの指定はないので、自動的に 443 が用いられます。

☑ Connect to remote desktops using Ericom Secure Gateway			
Enter host-name[:port] or IP-address[:port].			
Secure Gateway:	secgate.acme.com		





6. Mac 用の Ericom Blaze クライアント

インストレーションに求められるもの

- Mac OS X10.5 またはそれ以上
- 20 MB の利用可能なハードディスク容量
- MMX に対応する CPU

Mac 用の Ericom Blaze クライアントをインストールする

Mac 用の Ericom Blaze クライアントを開始するには、インストーラを実行し、インストー ル用ウィザードに含まれる指示に従います。

Mac にて Ericom Blaze クライアントを用いる

Ericom Blaze クライアントを開始するには、blaze という名前の実行ファイルまたはショートカットを持ちいます。

Blaze クライアント 2.5 またはそれ以上にて、.blaze 拡張子を Blaze クライアントと関連 づけます。いずれかの.blaze 設定ファイルをダブルクリックするのみで、Blaze クライア ントがあらかじめ設定された内容に基づき開始されます。

コア機能の適切な利用につきましては、Windows プラットフォーム用の Blaze クライア ントの章を復習してください。この章では Blaze クライアントの Windows 版と Mac 版の 機能の違いが扱われます。

PC キーボードを用いる

Windows ベースの物理キーボードを用いる際には、Blaze クライアントのローカル用リ ソースのタブにて「*Using a PC Keyboard*」をチェックするようにします。

Final Ref	ricom mote De	n [®] Blaze esktop Connec	tion		
General	Display	Local Resources	Programs	Experience	Gateway
Remote au	ıdio				
	Configure Setting	e remote audio setti gs	ngs.		
Keyboard					
<u></u>	Apply Wine Only whe Example A	dows key combinati en using the full scr NT+TAB	ions: Ke eer ‡	yboard locale Ise system loca Using a PC Key	le 🛟 /board

この設定がチェックされた後、特定の Mac から Windows へのキー・マッピングが無効 となります。「*Control and Windows*」のキーは予定どおりネイティブで動作します。





この設定が未選択となっている場合には、初期設定の Mac キーボードのエミュレーション が用いられます。コントロール(CTRL)キーが Windows キーとして用いられ、コマンド キーが Windows のコントロール CTRL)キーとして用いられます。

ドライブのマッピング

ドライブのマッピング用のダイアローグでは3つのオプションが表示されます。

Ericom Blaze
Fricom [®] Blaze Remote Desktop Connection
Local disks
 ✓ My Documents ✓ Desktop ✓ Media
Cancel OK

- ホーム・ディレクトリとマップするには「My Documents」を選択します。
- デスクトップ・ディレクトリとマップするには「Desktop」を選択します。
- /media ディレクトリとマップするには「Media」を選択します。このディレクトリ は CD-ROM ドライブやフロッピー・ディスク、Zip ドライブ等、取り外し可能なメ ディアにファイル・システムをマウントするために用いられます。

リバース・スクロール・ホイール

一部の Mac では、スクロール・ホイールが逆方向にて実行されます。スクロール・ホイールの現在の方向を変更するには、Local Resources タブにて「Reverse Scroll Wheel」 設定を選択します。



Blaze クライアントのファイル・メニュー

Mac 用の Ericom Blaze クライアントでは、新たな接続を開く、複数の Windows 関連の キーの組み合わせを保存する、といった更なる機能を実行するための *File* メニューが提供 されます。





フル画面モードでファイル・メニューにアクセスするには、マウスをスクリーンの左上の角に配置します。Macのツールバーが *File* メニューの選択と共に表示されます。

💣 Ericom Blaze Client	File
	New Connection
Recyde Bin	Send CTRL+ALT+DEL Send CTRL+Break Send Windows key
	Send Alt+F4

Blaze のタイトルバーを未表示とする

Mac 用の Blaze クライアントにてタイトルバーが無効となっている場合には、アクティブ なセッションの間、タイトルバーを有効とすることはできません。

Display the	onnection bar when I use the full screer	n bar when I use the full screen:
No	÷	

もし Blaze のタイトルバーが有効となっている際に、アクティブな Blaze のセッションの 間無効とすると、ユーザはアクティブなセッションの間タイトルバーに再度アクセスする ことができなくなります。再度タイトルバーを表示するには、ユーザはセッションを解除 し、再接続することが必要となります。







7. Linux 用の Ericom Blaze クライアント

インストレーションに求められるもの

- 最新版のLinux ディストリビューション(Red Hat, Fedora, Suse や Ubuntu 等)。Linux kernel 2.6 またはそれ以上が必要です。
- 20 MB の利用可能なハードディスク容量
- MMX に対応する CPU
- Blaze を用いる前にインストールする必要のある X11 ライブラリー: Xcursor、Xrandr、Xinerama など

Linux 用の Ericom Blaze クライアントをインストールする

Linux 用 Ericom Blaze クライアントのインストーラには以下の4つの種類があります。

- Red Hat / Fedora / Suse などのほとんどの Linux ディストリビューションの rpm
- Debian ベースの Linux ディストリビューション Ubuntu や HP® ThinConnect な どの deb
- ほとんどの Linux 環境に対応し、その他のユーザのルートにて利用可能なグラフィカル・インストーラ
- すべてのファイルを含む Blaze.tar.gz のアーカイブ。Linux シンクライアント のインストレーションに最適

rpm を用いてインストーラするには、このコマンドを入力してください。

rpm –I Ericom-Blaze-Client.rpm

deb を用いてインストールするには 、Ericom-Blaze-Client.deb ファイルをダブルクリッ クしてください。

deb バージョンもこのコマンドを実行することによりインストールできます。

dpkg -- i Ericom-Blaze-Client.deb

注意 Linux シンクライアントの deb パッケージを用いて Blaze をインストールする場合に は、 シンクライアント提供ベンダーによりソフトウェアのインストール・ツールが求 められる場合があります。





グラフィカル・インストーラを用いるには、以下の手順に従ってください。

- 1. Ericom-Blaze-Client-For-Linux.zip を解凍する
- 2. zip から得た Ericom-Blaze-Client-For-Linux.sh を開始する
- 3. インストレーション用ウィザードの指示に従う

インストーラがルートにより実行される場合には、初期設定でのインストレーションの ロケーションはこちらになります。

/Ericom-Blaze-Client

そうでない場合には、インストレーションのディレクトリがインストールしているユーザのホームディレクトリに作成されます。例えばこのようになります。

/home/user/Ericom-Blaze-Client

インストレーションのディレクトリは blaze という名前の実行可能なファイルを含みま す。このファイルを実行し、Ericom Blaze クライアントを開始します。

このグラフィカル・インストーラにて、お望みのディレクトリ内の実行可能なファイル へのリンクを作成するためのオプションを利用する事ができます。初期設定では /user/bin となります。



対象となるフォルダへの書き込み権限が求められます。さもなければ、エラーメッセー ジが表示されます。





Linux にて Ericom Blaze クライアントを用いる

Ericom Blaze クライアントを開始するには、blaze という名前の実行可能なファイルまた はリンクを用います。Windows プラットフォームと同様の接続用ウィザードが表示され ます。詳細につきましては、Windows 用の Blaze クライアントの章をご覧ください。実 行可能なファイルは、/opt/Ericom-Blaze-Client ディレクトリにあります。

コア機能を適正に用いるために、Windows プラットフォーム用 Blaze クライアントの章 を読み返してください。

ドライブのマッピング

ドライブのマッピング用ダイアローグは3つのオプションを提供します。

Ericom Blaze
Remote Desktop Connection
Local disks X My Documents X Desktop X Media.
*
Cancel QK

- ホーム・ディレクトリをマップするには My Documents を選択します。
- デスクトップ・ディレクトリをマップするには Desktop を選択します。
- Media を選択し、/media ディレクトリをマップする。このディレクトリは、 CD-ROM ドライブやフロッピーディスク、Zip ドライブ等の取り外し可能なメ ディアにファイル・システムをマウントする場合に用いる事ができます。





8. CE 用の Ericom Blaze クライアント (β版)

インストレーションに必要なもの

- Windows CE 5.0、6.0 またはそれ以上
- 15 MB の利用可能なハードディスク容量
- MMX に対応する CPU

CE 用の Ericom Blaze クライアントを入手する

ベータ版のダウンロードに関する詳細につきましては、 Ericom サポート (supportusa@ericom.com) にお問い合わせください。

CE 用の Ericom Blaze クライアントをインストールする

Windows CE デバイスは設定により大幅な違い生じます。CE にて Ericom Blaze クライア ントをテストする最も簡単な方法は、USB キーに ZIP フォルダー (Blaze.exe と msvcr90.dll)の中身を USB ドライブ内に解凍保存し、実行させる方法です。CE デバイス が完全にロックされてしまっている場合には、シンクライアント提供先ベンダーに連絡 を取り、シンクライアント用イメージに CE 用の Ericom Blaze を追加するように要請す ることが必要となります。



9. ベスト・プラクティス

セキュリティ設定をチューニングすることによるパフォーマン スの向上

免責 システムやサービスにセキュリティ関連の変更をする前に、御社セキュリティ管理者 に相談するようにしてください。

Microsoft RDP に対して暗号化が有効となっている場合には、サーバ(ホスト)のリソー スがより多く消費されることになります。リソースの利用を少なくし、Ericom Blaze の パフォーマンスを向上させるには、セッションのホスト(ターミナルサーバ)の RDP Encryption level 設定を Low にしてください。RDP 暗号化のレベル設定を Low にするこ とにより、サーバからクライアントへのトラフィックにて RDP 暗号化が無効となるよ うに設定されます。しかしながら、クライアントからサーバへのトラフィック(ユーザ の身分証明を含む)は引き続き暗号化されます。

Ericom Blaze は強力な 128-bit SSL 暗号化を標準装備しています。この機能により、 ス タンダードな Microsoft RDP 暗号化を利用することができるようになり、結果として Blaze のパフォーマンスが向上します。 この機能は Ericom Blaze サーバ設定用のコン ソールを用いて有効にする事ができます。そちらにて Encrypt Blaze communication を Always と設定してください。

RDP 暗号化が必要でないネットワーク(例:サードパーティのセキュリティ用でバイス が用いられている)では、RDP 暗号化を無効にし、 Ericom Blaze SSL を *inherit from RDP* と設定することによりより最高のパフォーマンスを得る事ができます。

Ericom Blaze supports strong SSL encryption

Encrypt Blaze communication: Inherit from Microsoft RDP (default)

IRDP 暗号化を調整するための指針

Windows 2003, 2008, 2008R2 ターミナルサーバ

Windows 2003 や 2008 の場合には、Administrative Tools | *Terminal Services Configuration* を開きます。

Windows 2008 R2 の場合には、Administrative Tools | *Remote Desktop Session Host Configuration* を開きます。

General タブを開きます。

Security layer を RDP Security Layer に設定します。(こちらが初期設定サーバです)

Encryption レベルを Low に設定します。





OK をクリックし、設定の変更を許可します。

注意	もしこれらの設定がグレー色となっており、変更できない場合には、それらはおそら
	くグループポリシーにより管理されています。この場合にはサーバ管理者に変更を依
	頼してください。

RDP-Tcp Propert	ties 🔰
Remote Contro General	I Client Settings Network Adapter Security Log on Settings Sessions Environment
Туре:	RDP-Tcp
Transport:	tcp
Comment:	
Security Security layer:	RDP Security Layer
Communicatio encryption.	n between the server and the client will use native RDP
Encryption lev	rel: Low 🔽
All data sent fr maximum key	rom client to server is protected by encryption based on the strength supported by the client.
Allow conn Network Le	ections only from computers running Remote Desktop with vel Authentication
Certificate:	Auto generated
Sele <u>c</u> t Learn more ab	Default
	OK Cancel Apply

<u>Windows ワークステーション (XP, Vista, 7)</u>

RDP 暗号化はシステムのローカル/グループ用ポリシーにより設定されます。変更する ために助けが必要な場合には、御社のシステム管理者に相談するようにしてください。



He action View Favorites Window He	9p	[6
Console Root	Encryption and Second Secon	Sutro Sta
 Software Settings Windows Settings 	encryption level	Grand Source Policy Multiple processing of the procesing of the procesing of the processing of the processing o
Administrative Templates Administrative Templates Windows Components NetWeeting RSS Feeds Internet Explorer Administrative Compatibility	Display <u>Properties</u> Requirements : At least Microsoft Windows XP Terminal Services	The set of
Application Comparison Event Viewer Event Viewer Internet Information Services Security Center Task Scheduler Terminal Services	Description: Specifies whether to enforce an encryption level for all data sent between the client and the remote computer during a Description	Set client connection encryption l 2 X
Clent/Server data redirect CartySpitch and Sourtly Curry Spitch and Sourtly Core to the spitch and Sourtly Clent Core to the spitch and the spitch	Termina de rules desido. Important: If FIPS compliance has aiready been enabled by the "System cryptography: Use FIPS compliant algorithms for encrypton, hashing, and signing" comp Policy, you cannot change the encrypton level by using this Group Policy or by using Terminal Services Configuration. If the status is set to Enabled, encryption for all correctors	Not Configured Stated Constant Ecoption Level (Low Level) Douce the encoption level have the disp-down list.
Windows Media Player Windows Media Player System Network Printers Super Configuration	to the server is set to the level you specify. By default, encryption is set to High. The following encryption levels are available:	Supported on All least Microsoft Windows //P Termind Services Previous Setting Microsoft Setting
	FIPS Compliant: encrypts data sent from client to server and from server to client to meet the Federal Information Processing Standard 140-1 (FIPS 140-1), a security implementation designed for	CK Creed App

暗号化されたパスワードやパラメータを用いる

Blaze クライアントは XTEA 暗号化パスワードをサポートします。Blaze クライアントに て-J パラメータ(「J」は大文字)を用いて暗号化されたパスワードを作成します。

```
C:\Program Files (x86)\Ericom Software\Ericom Blaze Client>blaze -J abc123
```

すると、暗号化されたパスワードが提供されます。

握 Encry	/pt abc123	×
	"abc123" = = > "A90AA4056B7003AEC12B02AD230258	79"
	ОК	

暗号化されたパスワードを用いるには、blaze -uUserName -j <encrypted password><ServerName> を実行します。(小文字「j」に注意します)

例:

Blaze.exe -uGuest -j A90AA4056B7003AEC12B02AD23025879 svr.acme.com

注意 暗号化されたパスワードはコマンドラインのパラメータとしてのみ機能しま す。Blaze クライアントの GUI にパスワードとして入力することはできません。

ロードバランサーを用いる

大規模なアプリケーションやデスクトップをホストしている環境においては、複数の RDPホスト・サーバが必要とされます。大きな負荷を扱い、大規模なターミナルサーバ





群にてユーザを均等に割り振るために Ericom PowerTerm WebConnect コネクションブローカを用いる事ができるかもしれません。Blaze はターミナルサーバを認識するサードパーティのロードバランサーと連動させることができます。(例: Windows 2008 Session Broker や 2X Load Balancer)

設定

Windows オペレーティング・システム(2003 かそれ以上)上で実行されるソフトウェア ・ベースのロードバランサー(例:Remote Desktop コネクションブローカ)を用いてい る場合には、Ericom Blaze サーバは同じマシンにインストールすることができるかもし れません。それ以外のロードバランサーにおいては、別のマシンに Ericom Blaze をイン ストールするようにしてください。

Ericom Blaze サーバはロードバランサー用アドレスやポートに接続するように設定され なければなりません。そうするために、Ericom Blaze サーバの Configuration Tool を用い る事ができます。*Communication* タブを開き、RDP ホスト用アドレスにロードバランサ ーの *address:port#*を入力してください。Blaze サーバがロードバランサーと同じ Windows マシンにインストールされている場合には、*localhost:port#*を用いてください。

Service	Licensing	Performance	Communication	Acceleration	Security	Logging	Advanced	
Blaze port number: 3399 Restore Default (3399)								
Changing this setting will take effect only after the Blaze Server service is restarted.								
Specifies t use by son	Specifies the TCP/IP port on which the Blaze Server service listens for incoming connections. Do not use a port number which is already in use by some other service or application on the computer. If you do, Blaze Server service will not start.							
Important: Blaze Clients automatically connect to port 3399 when using accelerated RDP. If a different port value is selected, that value must be explicitly specified in the Clients' host address field.								
RDP <u>h</u> ost	RDP host address: [lb.ericom.com:80]							
Changing	this setting will	take effect only afte	er the Blaze Server se	ervice is restarted.				

Ericom Blaze クライアントが Blaze サーバのアドレスと接続するように設定してくださ い。Blaze サーバはロードバランサーにコミュニケーションを転送します。この環境では、 Blaze サーバ、ロードバランサー、RDP ホスト間の接続は密接かつ遅れのないようにし なければなりません。そうすることにより、優れたパフォーマンスを提供することがで きるようになります。

この図では、Ericom Blaze がロードバランサーとどのように連動するかについて示されています。







Ericom Blaze サーバを実行しているシステムは、アクティブなユーザすべてがスムーズに 利用できるようにするために、十分なメモリを備えている必要があります。

<u>設定のサンプル</u>

それぞれの Blaze サーバのセッションにはだいたい 7MB 程度用いられます。Blaze サー バに 2560 MB のメモリがある場合には、このサーバで扱うことのできるユーザの数はこ のように割り出す事ができます。

512MB + 2048 MB / 7MB = 292 ユーザ

512MB はオペレーティング・システムに割り振られます。 残りのメモリはユーザのセッ ションのために用いられます。Blaze サーバは 32 bit のアプリケーションであるため、2 GB 程度用いられるのみとなります。300 ユーザ以上サポートする必要がある場合には、 Ericom サポートにご相談ください。

外国語のキーボード・レイアウトならびに外国語での利用

インストレーションに必要とされるもの

クライアントで用いられる言語は、Blaze がインストールされているホストによって定義 されます。

Mac と Linux の設定

LANG 環境変数はクライアント用デバイスの言語を定義するために用いられます。LANG 環境変数がクライアントにて正しく設定されているか確認してください。環境変数のバ リューが Blaze クライアントのフォルダ内の lang.txt ファイルにある入力と一致している か確認してください。





国際スペイン語は現在サポートされていません。一般スペイン語を用いるようにしてく ださい。

新しいバージョンの Blaze クライアントでは希望するキーボードのロケールを選択する ためのドロップダウン・ボックスが含まれます。

E Re	Remote Desktop Connection					
General	Display	Local Resources	Progra	ms Experience	Gateway	
Remote at	udio Configure Settings	remote audio setti	ings.			
Keyboard						
	Apply Wind Only when	ows key combinat n using the full scr	ions: eer ‡	Keyboard locale en_US (0x0409)	÷	





10. Ericom Blaze をアンインストールする

Windows

Control Panel | Add/Remove Programs にて Ericom Blaze クライアントとサーバをアン インストールします。

🖏 Add or Re	move Programs			_ 🗆 🔀
5	Currently installed programs:	Show up <u>d</u> ates	Sort by: Name	~
Change or Remove	💋 Adobe Flash Player			
Programs	Shockwave Player		Size	8.34MB
	癠 Ericom Blaze Client		Size	9.26MB
Add New	🔀 Ericom Blaze Server		Size	<u>4.92MB</u>
Programs	Click here for support information.		Used	occasionally
-			Last Used On	2/9/2010
<u> </u>	To remove this program from your computer, click Remove.			Remove
Add/Remove Windows				
Components				
Sot Drogram				
Access and				
Deraults				

Linux

Blaze アプリケーション・ディレクトリからアンインストールするスクリプトを実行します。

Мас

Blaze アプリケーション・ディレクトリからアンインストーラを実行します。

► SHARED ▼ PLACES ■ Desktop ↑ administrator ▲ Applications
--





11. Juniper[®] SSL VPN とのインテグレーショ ン

設定に必要とされるもの

Juniper SA-2000 6.0R1

Ericom Blaze Client 1.2 またはそれ以上

Ericom Blaze サーバ 1.2 またはそれ以上

Windows Secure Application Manager Configuration (WSAM)

Juniper SSL VPN アプライアンスを用いて Ericom Blaze を用いる方法のひとつに、ネットワーク・アクセスに Windows SAM (WSAM) を設定する方法があります。WSAM は HTTPS 接続経由で Ericom Blaze のトラフィックをトネリングすることによりアクセス を許可します。

Juniper IVE からの場合には、こちらを参照します。 Users → User Roles → <Role Name> → SAM → Applications

Add Server をクリックします。

Name フィールドに Blaze サーバのディスプレイ名を入力します。次に、サーバを見極めるための説明を入力します。

Server フィールドに Blaze サーバ名を入力します。以下の例では、*server.widgets.com* が 用いられます。

Ports フィールドに Ericom Blaze ポートを入力します。

Save Changes をクリックします。



<u>Roles</u> > <u>Users Main</u> : New Allowe	d Server	
* Type:	Standard	
Name:	MyServer	
Description:	My Test Server	
* Server:	server.widgets.com	Name or IP address You can use * or ? wildcards. You can also specify with a netmask or prefix-length (10.10.10.20/255.255.255.0 or 10.10.10.20/8).
Port(s):	3399	You can specify multiple ports as comma-delimited lists (1,2,3,4) or ranges (1-4).
	Save Changes Save + New	

IVE ブラウザよりこちらを参照します。 Users → Resource Policies → SAM → Access Control

<Role Name>のための WSAM アプリケーションのポリシーを確認します。もしポリシー が存在しない場合には、次のステップに進みます。そうでない場合には、設定は完了し ています。

「New Policy」をクリックします。

Name フィールドに Ericom Blaze サーバのポリシーのディスプレイ名を入力します。

Description フィールドにポリシーを見つけるのに役立つ説明を入力します。

Resources フィールドに以下のフォーマットでアドレスを入力します。<server_name>:<port>.

Roles セクションにて、Ericom Blaze サーバにアクセスするための適切な役割をクリックします。



Secure Application M New Policy	anager Policies >	
* Name: Description:	MyTestServer Blaze Connection to server.widgets.com	Required: Label to reference this policy.
Resources		
	Specify the resources for which this policy ap	plies, one per line.
* Resources:	server.widgets.com:3399	Examples: <userdomain.com:22,23 exchange*.domain.com:1 10.10.10.10/255.255.255.0:80,443,8080 10.10.10.10/24:8000-9000</userdomain.com:22,23
Roles		
	 Policy applies to ALL roles Policy applies to SELECTED Policy applies to all roles OT 	roles HER THAN those selected below
	Available roles: Demo Users Add -> Meeting QA users Users Main VDIDemo	Selected roles:
Action		
	 Allow socket access Deny socket access Use Detailed Rules (available 	e after you click 'Save Changes')
Save changes?		
	Save Changes Save as Co	рру

Action セクションにて、「Allow socket access」を選択します。

「Save Changes」をクリックします。

Java Secure Application Manager Configuration (JSAM)

Juniper SSL VPN アプライアンス経由で Ericom Blaze を用いるその他の方法には、 Java SAM (JSAM) やネットワーク・アクセスを設定する方法があります。JSAM にはクロス プラットフォームであることの利点があり、ワークステーションにて管理者用特権がな くても実行する事ができます。JSAM は、HTTPS 経由で Ericom Blaze トラフィックをト ネリングすることにより、アクセスを許可します。

まずはじめに、Windows SAM の代わりに Java SAM を用いるためのユーザの役割を正し く設定します。

Juniper IVE より以下を参照します。Users → User Roles → <Role Name> → General → Overview

Access features セクションをスクロールダウンします。

Secure Access Manager を選択し、Java version ラジオボタンを選択します。



Access fe	atures	
	Check the features to enable for this user other roles assigned to the user.	r role, and specify any role-based optio
	🔽 Web	<u>6 Bookmarks</u> <u>Options</u>
	✓ Files, Windows	<u>3 Bookmarks</u> <u>Options</u>
	Files, UNIX/NFS	<u> 0 Bookmarks</u> <u>Options</u>
	Secure Application Manager	0 Applications Options
	O Windows version	
	• Java version	
	Telnet/SSH	0 Sessions Options

Save Changes ボタンをクリックします。

Juniper IVE より以下を参照します。Users → User Roles → <Role Name> → SAM → Options

ラジオボタン「Java SAM」が選択されていることを確かめます。

「Java SAM Options」セクションにて、「Automatic Host Mapping」を選択してユーザ が社内の DNS 名を用いることを許可します。このオプションが正常に機能するには、ユ ーザはローカルのワークステーションに対してローカルの管理者用アクセスを持ってい る必要があります。

「Save Changes」をクリックする

Juniper IVE より以下を参照します。 Users → Resource Profiles → SAM → Client Applications

「New Profile」を選択する

Type を「JSAM」と設定する

Application を「Custom」と設定する

名前を設定する。例:「Ericom Blaze」

Ericom Blaze サーバを JSAM Port Forwarding セクションに追加します。Ericom Blaze サーバのポートは 3399 となります。それぞれのエントリーにて、「Add」ボタンをクリックしてください。

チェックボックスの「Create and access control policy allowing Sam access to these servers」 が選択されている事を確認してください。

「Save and Continue」を選択します。役割のセクションが表示されます。



Type: *	JSA	AM 🔽				
Application: *	Cu	istom 💌				
Name: *	Eric	om Blaze				
Description:	_					
AM Port Forward	ding					
	DESTRE	STATUT THE THILDWIND SERVED STATUT				al Laureuus
(valid loopback addre addresses if you leav	e them I	e 127.0.0.1 or 127.0.10 x and hig blank. If you leave the Client Port	gher). JSAM wi blank, JSAM w	ill automatically choose and configu ill use the Server Port for that ser	ver.	iback
(valid loopback addre addresses if you leav Servers:	t destine esses ar them I	a for the following server(s), if it is 127.0.10 x and high blank. If you leave the Client Port elette	server Port *	all automatically choose and configu ill use the Server Port for that ser Client Loopback IP	Client Port	iback
(valid loopback addr addresses if you leav Servers:	esses ar e them I	a for the following server(s). If it l27.0.1 or 127.0.10× and his blank. If you leave the Client Port elete Server Name * server.widgets.com	Server Port * 3399	II automatically choose and configu ill use the Server Port for that ser Client Loopback IP	Client Client Client	Ad
(valid loopback addr addresses if you leav Servers:		a for the following server(3). If the left of the server is and high server Name * server.widgets.com Create an access contro Allow JSAM to dynamica use	Server Port * 3399	Il automatically choose and configu Il use the Server Port for that ser Client Loopback IP wing SAM access to these n available port if the spe	Client Port Se servers cified client p	Adi
(valid loopback addr addresses if you leav Servers: ve changes?		a for the following server(s). If it is 27.0.1 or 127.0.10x and his obank. If you leave the Client Port elete Server Name * server.widgets.com Create an access contro Allow JSAM to dynamica use	Server Port * 3399 I policy allo	Il automatically choose and configu Il use the Server Port for that ser Client Loopback IP wing SAM access to thes n available port if the spe	Client Port	Ad
(valid loopback addr addresses if you leav Servers: ve changes?		a for the following server(s). If it is 27.0.1 or 127.0.10x and his blank. If you leave the Client Port elete Server Name * Server.widgets.com Create an access contro Allow JSAM to dynamica use	Server Port * 3399 I policy allo	Il automatically choose and configu Il use the Server Port for that ser Client Loopback IP wing SAM access to these n available port if the spe	Client Port Se servers cified client p	Ac

「Available Roles」から適切な役割を選択し、 「Add->」ボタンを選択します。

「Save Changes」ボタンをクリックします。

.





12. iGel[®] Linux シンクライアントのインストー ル

この章では iGel カスタム・パティッションを用いて IGel Linux シンクライアントに Ericom® Blaze クライアントをインストールする方法について説明します。この内容をよ く理解するには、iGel Universal Management Suite (UMS)とデバイスを管理する上での 十分な知識があることが求められます。iGel カスタム・パティッションに関する更なる 情報は iGel UMS 管理者用ガイドにて提供されています。

必要とされるもの

iGel 管理ツールをインストールする Windows 2003 / 2008 サーバ。iGel Universal Management Suite 3.5.550 (Build 7867) は Ericom により承認されています。

iGel Linux シンクライアント用デバイス、ファームウェア・バーション: 4.03.500.01 を実 行している iGel UD3-720LX がテストに用いられました。

ステップ 1: Blaze ファイルと iGel inf ファイル

Ericom のテクニカル・サポートに連絡し、iGel Linux Blaze パッケージを依頼してください。このパッケージは以下により構成されます。

<u>Blaze.rar.bz2</u>:このアーカイブ用ファイルには、デバイスに転送される blaze のコンポー ネントが含まれています。拡張子は ".rar.bz2"としなければなりません。

<u>Blaze.inf</u>:このファイルは iGel 設定ファイルとなります。このファイルのフォーマット は以下のようになります。

[INFO]

[PART]

file="ericom.tar.bz2"

version="1"

file= はファイル名を示します。*Version*= は Blaze バージョンとともにアップデートされ なければなりません。これらのファイルとその利用法に関する更なる情報につきまして は、iGel 提供資料 (Custom Partition) を確認してください。

ステップ 2: 仮想ディレクトリを作成する

- 1) iGel Universal Management Suite (UMS) にフォルダを作成する。
- 2) Ericom により提供された iGel 用ファイルをこのフォルダにコピーします。
- 3) UMS Administrator(コンソールではありません)を開始します。
- 4) 「snapshots File Source」 タブをクリックします。





5) *add*をクリックし、名前を付け(この例では igel とします)、ステップ2 で作成した フォルダにこのフォルダを設定します。OK をクリックして作業を続けます。

Create new Web Resource		
Context-Name	igel	
Document base path	C:Vigel	
		Cancel

ステップ 3: 仮想ディレクトリをテストする

- 1) ファイルにアクセス可能か確かめます。
- 2) ウェブ・ブラウザを開き、以下を開きます。 <u>http://yourservername:9080/igel</u>
- igelums にログインするために用いたものと同じ身分証明を入力します。もし必要なら、 UMS に他のユーザ用アカウントを追加します。そうするためには、System メニュー より Administrator Accounts を選択します。
- 4) うまくいった場合には、ディレクトリの一覧にて以下の2つのファイルが含まれます。

Directory Listing For /

Filename	Size
ericom.inf	0.1 kb
ericom.tar.bz2	4523.9 kb

Apache Tomcat/5.5.9

ステップ 4: Create the iGel Profile in UMS

1) UMS に戻ります。 Profiles を右クリックして、New Profile を選択します。



Server - igelums@igel	ums	
🔻 左 IGEL Universal N	lanagement Suite	/Profiles/
🔹 👘 Profiles 🖉		Name
💽 Ericom	🚔 Move profiles here	
💽 Ericom 2	Rename	
🕨 🛁 Thin Clients	Delete	
🛶 Views	💼 Access Control	
🧠 Jobs	Cut	Ctrl+X
🛁 Files	<u>C</u> opy	Ctrl+C
🕨 🔫 Universal F	Paste	Ctrl+V
	Update Firmware <u>v</u> e	rsion
	Logging	►
	🛁 New <u>D</u> irectory	
	New Profile	
	😭 Export Profile	

2) 以下を開きます。 System | Firmware Customization | Custom Partition | Partition

<u>パティッションを有効にする</u>

- Enable Partition をクリックし、パティッションのサイズを設定します。(例: 20MB)
- 2) Mount point は/custom のままにします。

🔬 🗹 Enable Partition	
Size	🛆 20М
Mount Point	/custom

<u>ダウンロード</u>

- 1) Downloads をクリックし、新しい Partition Data Source を追加します。
- 2) URLを設定します: http://yourservernameorip:9080/igel/ericom.inf
- 有効なユーザ名とパスワードを入力します(例:UMS にログインするために用いたもの)
- 4) Finalizing Action にこちらを入力してください。chmod 777 /custom/Ericom/*



http://131.107.2.170:9080/igel/ericom.inf			
📐 🗹 Automat	Update		
URL 🍐	http://yourservername:9080/ige	l/ericom	
Username 🏼 🎽	igelums		
Password 🏼 🏅	********		
Initializing Action 🔏			
Finalizing Action 🔏	chmod 777 /custom/Ericom/*		
		Cancel	

<u>カスタム・アプリケーション</u>

- 1) Custom Applications をクリックし、新しいカスタム・アプリケーションを追加します。
- 2) セッション名のフィールドに、接続名を入力します。
- 3) 必要とされる開始方法とその他の属性を割り当てます。
- 4) Settings をクリックし、以下のコマンドを入力します。

bash -c '/custom/Blaze/blaze <server>'

Icon name	applications-other
Command	bash -c '/custom/Ericom/blaze rdpdemc

<server>は接続先のサーバのアドレスを表します。

5) Save をクリックします。

bash コマンドを用いる事により、初期設定で Blaze 接続を開始することができます。

接続なしで Blaze ダイアローグのみを表示するには、以下を実行してください。

bash -c '/custom/Ericom/blaze'

<u>カスタム設定</u>

Blaze クライアントはコマンドラインのスイッチを受け入れます。スイッチは bash コマ ンドにて blaze 用パラメータに追加する事ができます。

例えば、 接続バーを有効にしたまま "Good" のレベルでの圧縮を用いて Ericom Test Blaze サーバに接続するには、以下を実行してください。





bash -c '/custom/Ericom/blaze -G -f -x m -Z 50 rdpdemo.ericom.com:22'

<u>一般的な Blaze のコマンドライン用パラメータ</u>

Usage: blaze [options] server[:port]

- -u: ユーザ名
- -d: ドメイン
- -s: シェル
- -c: 利用しているディレクトリ
- -p: パスワード
- -g: デスクトップのジオメトリー (WxH)
- -f: フル画面モード
- -G: 接続バーを表示する

-M#: # は用いられるモニターの場所 (1 = first, 2=second, -1 = primary, -2 = secondary, future: 0 all)

- -b: bitmap の強制アップデート
- -A: シームレス RDP モードを有効にする
- -T: ウインドウのタイトル
- -a: 接続カラーの深み
- -Z: blaze のイメージ品質(10 から 100 まで)。-z と共に用いないでください。





13. トラブルシューティングとよくある質問

この章では一般的な設定上の問題をトラブルシューティングするための指針について説 明します。

質問: Blaze は Network Level Authentication (NLA) をサポートしますか。

回答: いいえ、Blaze は現在のところ NLA をサポートしていません。NLA を無効とす るようにしてください。そうしない場合には Blaze の接続が失敗します。(「リモート セッションを初期化する」というメッセージが表示され、Blaze クライアントの GUI が 再度表示されます。)

Subare Lingue Lingue	ware Advanced Remote
Remote Assistance	
Allow <u>R</u> emote As	sistance connections to this computer
	Advanced
	- The area and a second
Bemote Desktop	
nomoto p contop	
Click an option, and	then specify who can connect, if needed.
Click an option, and C Don't allow conn	then specify who can connect, if needed. ections to this computer
Click an option, and l	then specify who can connect, if needed. ections to this computer
Click an option, and C Don't allow connection Remote Desktop	then specify who can connect, if needed. ections to this computer s from computers running any version of fless secure)
Click an option, and C Don't allow connection Remote Desktop	then specify who can connect, if needed. ections to this computer is from computers running any version of [less secure]
Click an option, and I <u>D</u> on't allow connection <u>Remote Desktop</u> <u>C</u> Allow connection <u>Desktop</u> with <u>Net</u>	then specify who can connect, if needed. ections to this computer s from computers running any version of [less secure] sonly from computers running Remote twork Level Authentication (more secure)
Click an option, and I C Don't allow connection Remote Desktop C Allow connection Desktop with Net	then specify who can connect, if needed. ections to this computer s from computers running any version of [less secure] is only from computers running Remote twork Level Authentication (more secure)
Click an option, and I Click	then specify who can connect, if needed. ections to this computer is from computers running any version of [less secure] is only from computers running Remote twork Level Authentication (more secure) Select Users

質問: Blaze の印刷が Windows 8 と 2012 で機能しません。

回答: それらのオペレーティング・システムにて印刷をサポートするには、HP Universal Printer ドライバが必要とされます。

質問: Ericom Blaze の動作状況を、適切な RDP ホストを設定することなく確認できる 一般用デモ用サーバなどはありますか。

回答: はい、あります。Ericom Blaze クライアントをインストールした後、Start | Programs | Ericom | Blaze Client フォルダーにて、利用可能な2つの選択項目があります。 こちらにて一般的な RDP と Ericom Blaze RDP のパフォーマンスを比較をすることがで きます。





デモ用サーバにはパフォーマンスを評価するための様々なアプリケーションや資料など が含まれています。

ヒント rdpdemo.ericom.com へ接続するにあたり、クライアント用デバイスにて、ポート 22 からの接続が求められます。

質問:Blaze のセッションが無活動の状態になっていますが、帯域をかなり消費していま す。なぜですか。

回答:すべての画像やアニメーションの重いスクリーンセイバーを無効としてください。 スクリーンを空白にするか、テキストを用いたスクリーンセイバーを用いてください。ア ニメーションを用いたスクリーンセイバーはいかなるプロトコルを用いている場合に置い てもかなりの帯域を消費します。

質問:Blaze は上り帯域を用いますか。

回答:はい、Ericom Blaze は通信の一部として上り帯域を用います。ファイル共有プロ グラム等の一部のアプリケーションは上り帯域をかなり用います。アクティブな Blaze セ ッション中はそのようなアプリケーションにて上り帯域の利用を制限するか、全く用い ないようにしてください。

質問:どのように RDP ポートをカスタム値に変える事ができますか。

回答:REgistry Editor(regedit.exe)を用いてこちらの設定を変更してください。

HKEY_LOCAL_MACHINE\System\CurrentControlSet\Control\TerminalServer\WinStation s\RDP-Tcp\PortNumber

お望みのポート値を入力します。Blaze Server は自動的にこの設定を探知します。

質問: Ericom Blaze クライアントを開始した際に、このようなメッセージが表示されるのはなぜですか。



🖉 Erie	com Blaze Client 🛛 🛛 🔀
8	Unable to connect to Ericom Blaze Server "1.1.1.1:3399"
	OK

回答: Ericom Blaze サーバが実行されていない、または到達不可能となっています。

- Pingを用いてサーバ(例:testserver)に到達可能かどうか確かめてください。
- ホスト/サーバのファイヤーウォールが Ericom Blaze のトラフィック(初期 設定では 3399)を許可しているか確かめてください。
- サーバのタスクマネージャにて、BlazeServer32.exe が実行されているかどう か確認してください。(サービスとして実行されているため、タスクマネージ ャにてすべてのユーザのプロセスを示すように設定する必要があります)
- 受信先ポートが Blaze サーバ設定で適正に設定されているかどうか確かめてく ださい。

質問: Blaze クライアントを RDP 高速化を有効にして開始した際に、点滅したスクリーンが表示され、何も生じません。何が間違っているのでしょうか。

回答: Blaze クライアントは Blaze サーバに接続可能であるものの、Blaze サーバは RDP ホストに接続することができていません(例え RDP ホストで実行されている場合において も)。そのホストへの RDP アクセスが無効となってしまっているか、またはネットワーク 用アダプターにより制限されている可能性があります。

特定のネットワーク用アダプターにてターミナルサーバへの RDP アクセスが制限されてい ないかどうかを確かめるには、アドミニストレーション用ツールにて Terminal Services Configuration を開きます。 表示されたダイアローグにて RDP-Tcp をダブルクリックし、 Network Adapter タブを選択します。Network adapter ドロップダウンが 「All network adapters configured with this protocol」として設定されているかどうかを確かめてください。



🚆 tscc - [Terminal Services Configuration\Connections]					
<u>File Action View</u>	w <u>H</u> elp				
Terminal Services Configuration		Connection	Transport	Туре	Comment
Connections	gs	🖵 RDP-Tcp	tcp	Microsoft RDP 5.2	
R	DP-Tcp Properties			?	×
	General L	.ogon Settings	Sessions	Environment	1
	Remote Control	Client Settings	Network A	dapter Permissions	ļ l
The following network adapters are type. Select the network adapter yo Network adapter:			ompatible with want to use.	the selected transport	
All network adapters configured with this protocol					
	Par nework adapte	s connguieu with			

質問: Blaze を用いた場合、どれほどの高速化が可能ですか。Blaze はテキストも高速 化しますか。

回答: ネットワークの種類とディスプレイの内容により異なります。Blaze は最大 20 倍まで RDP セッションを高速化することができます。エアカード等の制限されたネットワーク(帯域の低い、遅い)にて用いた場合に、より効果を発揮します。もしネットワーク制限のない LAN 上で接続している場合には、それほど効果に気づかないかもしれません。

もし、ご利用のセッションがほとんどテキスト(例:Emailの編集)にて構成されている 場合、または白黒画面にて構成されている場合には、グラフィックスをふんだんに用い たアプリケーション(例:グーグル・マップ、サテライト用モード)と比べると、効果 に気づきにくくなります。







高画質のクライアント用システムを用いて 2003 サーバに接続する際、カラーの 質問: 深みが設定値より低くなります。どうすればこの問題を解決できますか。

回答: 最新の Windows 2003 サービスパックのひとつを用いた場合、 帯域を保つ目的 で、高画質セッションにて RDP のカラーの深みが低くなってしまいます。オリジナルの 特性に戻す(設定したカラーの深みを保つ)には、Windows 2003 サーバより以下のリ ンク先のページ上にある Microsoft ホットフィックスをダウンロードしてください。 http://support.microsoft.com/kb/942610

次に、インストールの後にレジストリーのキーをマニュアルでアップデートします。

Registry subkey: HKEY LOCAL MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Terminal Server Registry entry: AllowHigherColorDepth Type: REG DWORD Value: 1

I	Name	Туре	Data
l	ab)(Default)	REG_SZ	(value not set)
l	👸 AllowHigherColor	REG_DWORD	0x00000001 (1)
	👪 Delete Temp Dirs O	REG DWORD	0×00000001(1)

最後に、サーバを再起動します。次のセッションではクライアントにより特定されたカラー の深みとなっていることを確認することができます。

質問: Ericom Blaze は WYSE S10/V10 thin OS デバイスをサポートしていますか。

回答: WYSE thin OS デバイスに Blaze アクセスを提供する最善の方法は以下の通りで す。

WYSE ターミナルが実行されているロケーションにて 新しい(ローカル)ターミナルサ ーバをセットアップします。ローカル TS に Blaze をインストールします。

RDP を用いてローカル TS と WYSE ターミナル(高速 LAN 接続)を接続します。その後、 リモートのシステム(遅いネットワーク接続にて)と接続するために Blaze クライアン トを実行します。





質問: なぜ Blaze セッションでの時間設定はクライアント用システムの時間設定と異なるのですか。

回答: ホストにてタイムゾーンの同期(synchronization)を有効にしてください。こちらは以下のとおり、Group Policy Editor にて調整する事も可能です



質問:Blaze サーバを実行して多くのマシンを設定するにあたり、最善の方法はあります か。

回答:グループポリシーを用いて Blaze サーバのレジストリーを設定します。 レジスト リー・キーは Advanced ページ内の Blaze Server Configuration application よりアクセス できます。

質問:Windows Azure と用いるためにどのように Ericom Blaze を設定することができま すか。

回答:Azure を Blaze と用いるために以下の手順に従ってください。

- Windows 2012 サーバを作成します。
- 管理者用ポータルにて、そのマシンをクリックし、EndPointsをクリックします。
- 3399 経由の TCT 用に新たなエンドポイントを追加する。(Windows ファイ ヤーウォールの外側のファイヤーウォールのようなもの)
- Blaze クライアントにて、AzureServerName.cloudapp.net:3399 と接続する。





質問:どのようにして技術的なサポートを受ける事ができますか。

回答:<u>SUPPORT@ERICOM.COM</u>にメールし、以下の情報を提供してください。

- Ericom Blaze のどのバージョンを用いているか。
- ホストにどのような種類のシステム/オペレーティング・システムが接続されているか。(例:Windows server, XPの場合) 32 bit か 64 bit か。RDP は有効か。
- クライアントはどのような種類のシステム/オペレーティング・システムが接続しているか。(例:Windows server, XPの場合) 32 bit か 64 bit か。
- ホストにてポート 3399 が有効となっているか。(ファイヤーウォールの設定 に例外はあるか)
- どのようなエラーメッセージが表示されているか
- どのような種類のアプリケーションが Blaze と共に用いられているか。
- 何名/何台のマシン/何台のホストに障害が生じているか(例:1、すべて 等)





Ericom について

Ericom[®] Software はアプリケーション・アクセス、仮想ソリューション、RDP 高速化ソリュ ーションの分野における代表的なプロバイダーです。1993 年以来、 Ericom は Microsoft Windows ターミナルサーバ、 仮想デスクトップ、レガシー・ホストやその他のシステム上に て実行されているエンタープライズのミッション・クリティカルなアプリケーションにユー ザがアクセスすることができるように支援してきました。Ericom は米国、英国、EMEA 地 区にオフィスがあります。加えて、北米、ヨーロッパ、アジア、極東において幅広いディス トリビューターやパートナーのネットワークがあります。これまで3万社以上のお客様、7 億ものユーザを支援してきました。Ericom やその製品に関するより詳しい情報につきまして は当社ウェブサイト http://www.ericom.com をご覧ください。

製品やサービスに関するより詳しい情報につきましては、こちらのウェブサイトをご覧くだ さい。 <u>http://www.ericom.com</u>

North America

Ericom Software Inc. 231 Herbert Avenue, Bldg. 4 Closter, NJ 07624 USA Tel +1 (201) 767 2210 Fax +1 (201) 767 2205 Toll-free 1 (888) 769 7876 Email <u>info@ericom.com</u>

UK and Western Europe

Ericom Software (UK) Ltd. 11a Victoria Square Droitwich, Worcestershire WR9 8DE United Kingdom Tel +44 (0) 845 644 3597 Fax +44 (0) 845 644 3598 Email <u>info@ericom.co.uk</u>

International

Ericom Software Ltd. 8 Hamarpeh Street Har Hotzvim Technology Park Jerusalem 91450 Israel Tel +972 (2) 591 1700 Fax +972 (2) 571 4737 Email <u>info@ericom.com</u>